

1. 日 時：平成 30 年 7 月 26 日（木） 15:00～17:30
2. 場 所：徳島大学工学部建設棟 3F A303
3. 出席者：橋本委員長，塚越，横手，森澤，渡部，新居，森本，牛尾，徳永，石井，原田，堀井，岸本，横井，中川，氏家の各委員，古田，渡辺の各オブザーバー（敬称略，順不同）
4. 配布資料：
  - 1-0 第1回「コンクリートの品質向上を目指した CUS 利用普及のための技術研究委員会」議事次第
  - 1-1 研究委員会設立理由書
  - 1-2 委員会名簿（2018 年 7 月 23 日現在）
  - 1-3 四国地区骨材資源対策技術委員会のガイドライン（平成 15 年 12 月作成）
  - 1-4 直島の CUS の JIS 認証に関する件（橋本のメール）
  - 1-5 CEMS 1 月号の記事（NEXCO 西日本 四国横断自動車道 吉野川大橋下部工）
  - 1-6 港湾における産業副産物の利用（国土交通省港湾局 海洋・環境課）
  - 1-7 スラグ骨材を全量使用したハイボリュームフライアッシュ重量コンクリートに関する実験的研究（横井委員）
  - 1-8 細骨材種類（%）2016 年愛媛 55 工場アンケート結果（渡部委員）
5. 議 事：
  - (1) 委員長挨拶  
橋本委員長から，第1回研究委員会開催にあたっての挨拶があった（資料 1-1）
  - (2) 委員構成等について  
橋本委員長から，資料 1-2 の委員構成に関して説明があり，今後 JCI 正会員からの参加の申し出あれば受けたいとの提案がなされ承認された。
  - (3) 委員自己紹介  
資料 1-2 により橋本委員長より現在の委員構成が紹介と，各出席委員から簡単な自己紹介があった。
  - (4) 話題提供① 資料 1-3 の資料を用いて，橋本委員長より四国でのスラグ細骨材を用いたコンクリートの施工に関するガイドラインについて説明があった。
  - (5) 話題提供② 資料 1-7 を用いて，横井委員より高知における南海トラフ巨大地震に伴う津波対策としての，消波ブロックへの銅スラグ細骨材を使用した重量コンクリートの適用に関する研究について説明があった。
  - (6) 話題提供③ 資料 1-4 を用いて，橋本委員長より三菱マテリアル直島の CUS2.5 の JIS 認定取り下げについて説明があった。
  - (7) 話題提供④ 資料 1-5 の資料を用いて，橋本委員長より吉野川大橋の下部工用コンクリートに CUS を混和したコンクリートの使用状況について説明があった。
  - (8) 話題提供⑤ 資料 1-6 の資料を用いて，橋本委員長より国土交通省港湾局海洋・環境課での，港湾でのスラグ骨材の利用について説明があった。
  - (9) 話題提供⑥ 資料 1-8 の資料を用いて，渡部委員より愛媛の生コン工場での銅スラグ細骨材の使用実績について説明があった。
  - (10) フリーディスカッション
    - ① 配合別でのブリーディングに及ぼす影響や，型枠界面の状況，打設（施工性）と仕上がりについて，新しい高機能 AE 減水材の影響なども含めて検討が必要ではないか。
    - ② 銅スラグ細骨材の価格については，大体のものは天然砂よりは安い販売とはなっている。ただし，運搬費なども含めて販売価格は決まる。
    - ③ 建築物件でも乾燥収縮防止のために使用された実績もある。たとえば近畿など地域によっては，収縮の問題が多く，そのような場合では建築物件での使用実績がある。
    - ④ 銅スラグ細骨材の使用はまずは国内での使用が検討され，それでも余ったものは海外へ輸出されている。多くはセメントメーカーへの販売となっており，鉄分のセメント原料として使われている。
  - (11) 次回委員会開催日時や今後の活動について  
今回は，徳島大学建設棟にて 12 月頃に開催予定で，メール審議にて次回の開催日時を決定する。  
四国の生コン工組会員の工場へのアンケート調査の実施におけるアンケート内容については，橋本委員長が素案を作成し，委員会委員に相談したいとの説明があり，承認された。